

# 時空間情報管理システム Spatio-temporal Information Management System

大沢 裕  
Yutaka Ohsawa

埼玉大学工学部情報システム工学科  
Department of Information and Computer Sciences, Faculty of Engineering,  
Saitama University

本研究は、従来埼玉大学で基礎研究を行ってきた時空間情報管理システムの研究を発展させ、地方自治体などでの実運用に耐える時空間情報管理システムを開発するものである。本研究の実施に際して、(株)電源開発、(株)明電舎、(株)昭文社、及び埼玉大学工学部大沢研究室が「J-時空間コンソーシアム」を構成し、システム開発および地方自治体への時空間情報管理システムの啓蒙を行ってきた。(株)電源開発が自治体における時空間情報システムのコンサルティング、(株)明電舎がシステム開発、(株)昭文社がデジタル地図の整備・提供、埼玉大学が時空間情報管理システムの基礎研究を分担した。

自治体への啓蒙としては、2002年8月から9月にかけて全国約10箇所で、主として地方自治体の職員を対象とした時空間情報管理システムの有用性をテーマとしたセミナーを開催した。また2003年2月にも全国で同様のセミナーを開催している。

今年度コンソーシアムで地方自治体向けに作成した時空間情報管理システムのプロトタイプは、長崎県の林業管理システム、長崎県の漁場管理システム、埼玉県の防災支援物資管理システム、沖縄トロピカルテクノセンター所有のデジタル地図の活用を目指したシステム、などである。また、国土交通省が実施したGISの教育・家庭応用システムの公募研究に応募した、(株)リョウイン、(株)沖電気のシステム開発に技術協力した。更に、国が公募実施したGIS実証実験に大阪土地家屋調査士会が応募した土地の筆管理システムの開発にも技術協力した。

本研究で共同開発したシステムはJ-STIMSと名づけられ、2003年5月に設立された(株)J-時空間研究所から提供されている。教育や研究用途での利用に関しては、同社からフリーソフトとしてJ-STIMSが提供されている。また、埼玉大学工学部情報システム工学科のホームページからも、本研究の元になったシステム(埼玉大学版STIMS)がフリーソフトとして提供されている。

今後、継続して共同研究を行い、Web-GISやモバイルGISなどへの対応や、差分ファイル提供方式などを研究していく予定である。